

最優秀賞

倉梯小学校4年生 様（学校等の部）

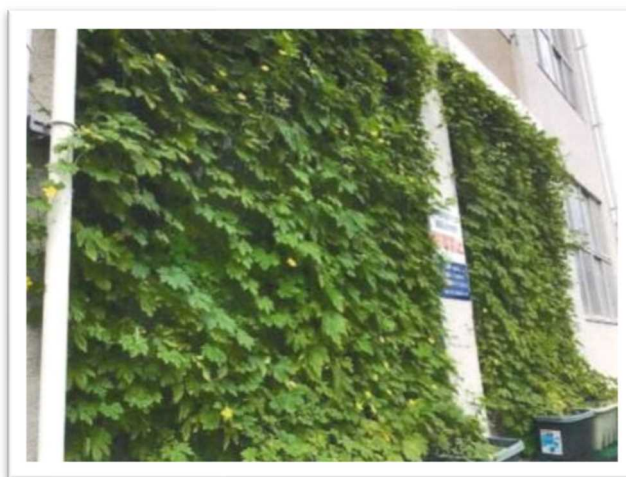


2学期始業式。大きく育った緑のカーテンが子どもたちを迎えます。



ゴーヤを収穫

初めて収穫できたゴーヤを地域の方にプレゼント



8月も終わりですが、まだまだ元気に花を咲かせ実もつけています。



朝休みの図書館の様子



緑のカーテンの学習の様子



オレンジになったゴーヤの中を観察



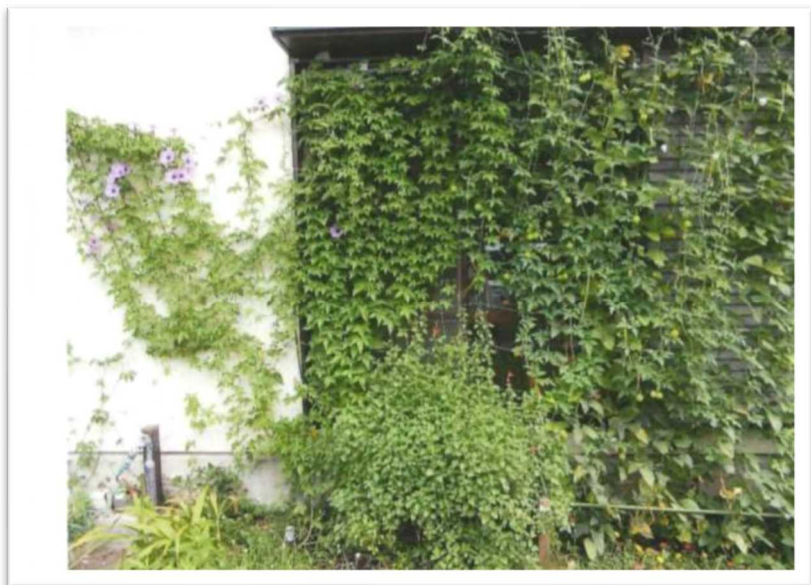
種もたくさん採れました。

アピールポイント・感想

クラスで当番を決め、水やりを頑張りました。どんどん大きく育っていくのが嬉しかったです。1学期の終わりにゴーヤが収穫でき、見守りたいの方にプレゼントすることができました。2学期に入ってもゴーヤが収穫できたので、種の周りの赤くなった部分を食べてみました。初めは恐る恐る食べていていましたが、美味しいということが分かって何個も食べている児童もいました。環境学習を通して、緑のカーテンが地球温暖化防止につながることを知り、自分の家でも緑のカーテンを作りたいと思う児童や、いつもお世話になっている地域の方にも種をプレゼントしたいという児童が出てきました。今後も引き続き取り組んでいきたいです。

優秀賞

小川 真純 様（個人の部）



右からささげ豆、風船かずら、琉球あさがお、手前左はチェリーセージです。紅白のツートンでかわいいです。



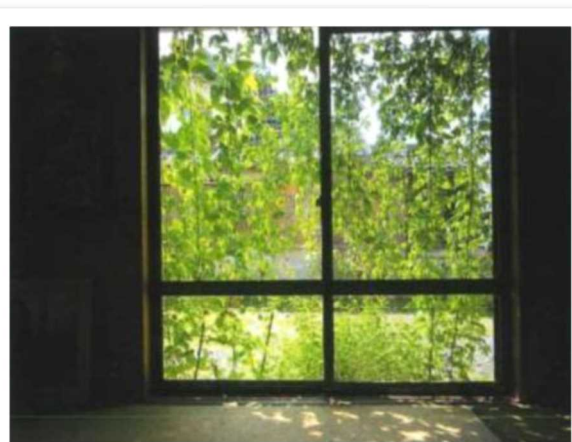
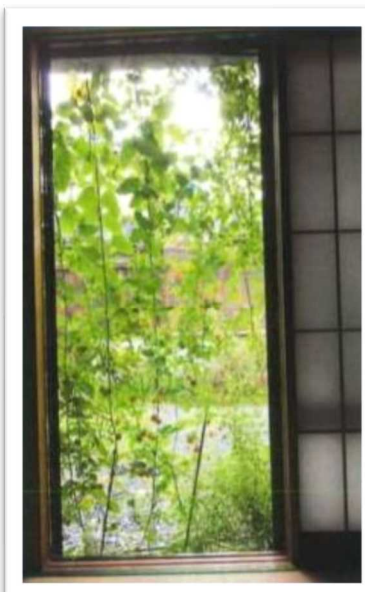
お風呂場から撮影。ノウゼンカズラとゴーヤです。日差しが柔らかです。



甥っ子がプレゼントしてくれ、種をまいた朝顔



知人から苗をいただき植えたアップルゴーヤ



室内から見るグリーンカーテンも陰影が美しく、グリーンの効果を心身に感じ取ることができました。



ささげ豆の花は昼前には閉じるのでシャッターチャンスは早朝のみ



風船かずらの昼夜の比較。夜は幻想的、昼間は風に揺れるイヤリングのような可愛らしさ。

絵日記はお盆に甥っ子が来てかいてくれました



宿根琉球アサガオ。昼からも咲いていて暑さに強いです。

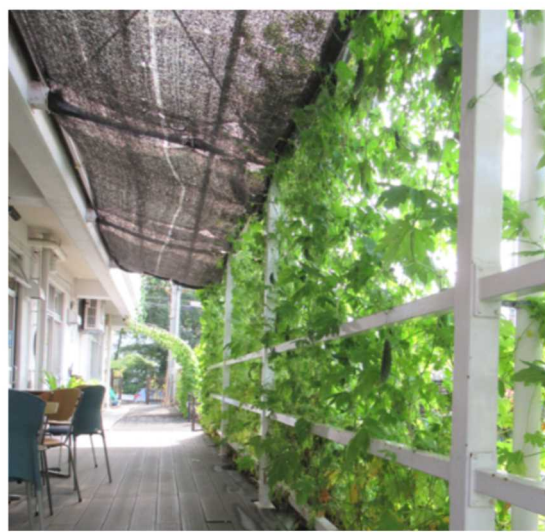
アピールポイント・感想

ささげ豆と風船かずらは種まきから収穫までの成長過程を楽しみながら育てました。毎朝、家の周囲を一回りして見て回り水やりをすることから1日が始まります。私にとって（自称）小さな花回廊です。種をまき、葉が茂り、花が咲き、実が成り、食してと、ひと夏のグリーンカーテンを存分に楽しみました。心が満たされた夏の思い出です。グリーンカーテンを含め、道沿いにたくさんの花を育てているので、通られる皆さんの目にも留まり、暑い中少しの涼感と植物からの元気を受け取っていただけたのではと思っています。

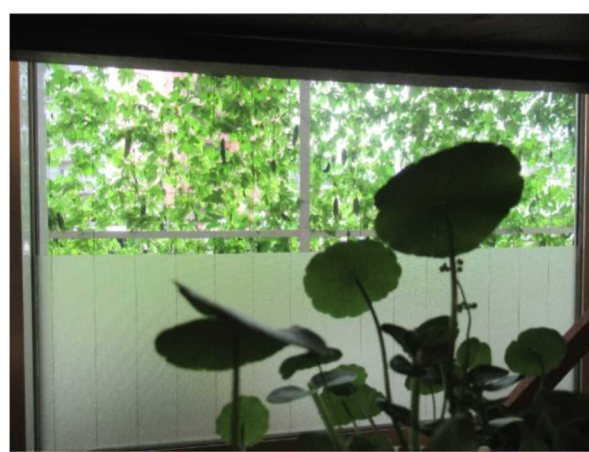
舞鶴市身体障害者福祉センター 様（団体の部）



ゴーヤの実が鈴なり♪グリーントネルが涼しげです！



ウッドデッキ一面のゴーヤカーテンで緑が鮮やか♪

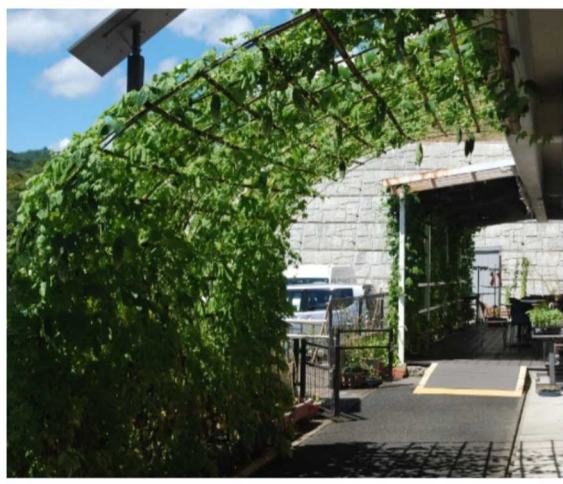


室内の山野草との涼しげコンビ



駐車場からのエントランス。モリモリのグリーンカーテンにお客様からも感嘆の声が！

竹の手作りアーチでゴージャスなグリーンが実現♪



猛暑の中、憩いの場を作るゴーヤトンネル



グリーンに囲まれたウッドデッキで談笑



ゴーヤ苗の植付けも就労利用者の皆さんと汗を流しました！

アピールポイント・感想

今年は、就労の利用者の方と一緒に植え付けをし、日々の水遣りや追肥、摘心など、楽しみながら行いました。丁寧に愛情をもってお世話をする事で、葉やつる、実の著しい成長を日々感じ、喜びとなっていきました。こまめにつるを誘引し、きれいなトンネルになるように手入れを行いました。また、大きなゴーヤを収穫した時の喜びは格別です。収穫した実は、お客様にお安く提供し、大変喜んでいただきました。

涼しい空間を演出できただけでなく、みどりのカーテンをきっかけに会話も生まれ、コミュニケーションにも一役買ってくれたことで、大変意義深い取り組みになったと思います。

橘幼稚園 様（学校等の部）



今年はプランターをやめ、地下植えに挑戦！



2階まで伸びていく勢いでした。



初めてのゴーヤを見つけたよ



ホットプレートで炒めて試食してみたよ



廊下のところに日陰が出来てうれしいです。



アピールポイント・感想

ゴーヤのカーテンは、橘幼稚園の夏の風物詩となりました。今年度は特に、新型コロナウイルス感染症が流行していることもあり、園外に出にくいことから、園内での栽培活動に力を入れて過ごしました。

年中さんになる年の子ども達が水やりを担当し、苗の成長を、自分たちの身長を抜かすまで目を凝らし、見守っています。

食育の面においても、子ども達がゴーヤを口にして感じる“にが”を分かりやすく伝えることができます。一方、アリは“甘い”と感じ花のミツをなめにくることがあり、ゴーヤ1つで子ども達に多くのことを伝えられることに感謝しています。

特別賞

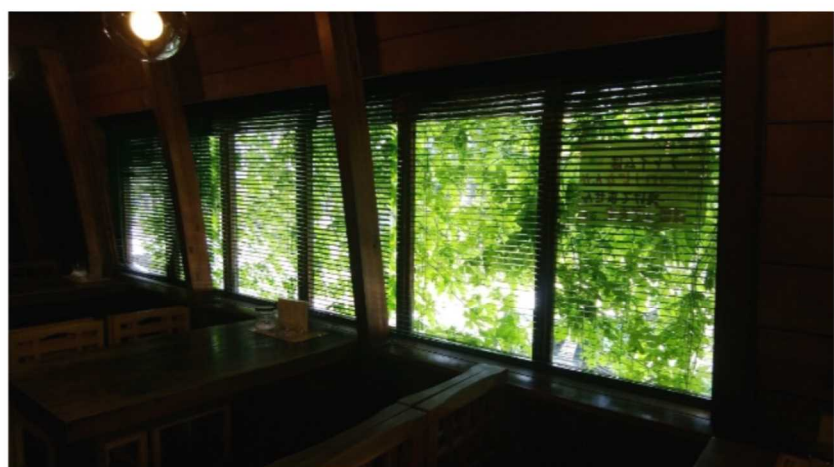
喫茶 チャイム 様（団体の部）



今年初めて、お店の窓で「みどりのカーテン」にチャレンジ



駐車場のコンクリート壁と店舗の基礎の間に植えました
（一部プランター利用）



ゴーヤの緑葉から漏れてくる、やさしい自然の光を
楽しみながら営業しました。

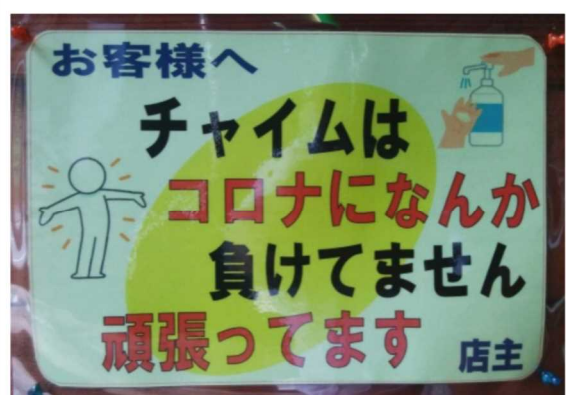


カウンター席からも、緑葉から漏
れるやさしい自然の光がとても心
地よいそう。お客様からは「清涼
感が感じられて、お昼のビールが
おいしいわ」と好評でした。

色々な調理法で試行錯誤を繰
り返しながら、ゴーヤ料理に話が
弾みます。



常連様のお気に入り、生ゴーヤを使った
「生サラダ」。苦みも少なく、健康的でおい
しいと喜ばれました。



ポスターはゴーヤ談義に参加してくれた
常連さんが、ゴーヤの実をモチーフに
作成してくれました。



お越し頂くお客様のためにも、
まだまだ頑張ります。
来年は、大きな北側の窓への
「みどりのカーテン」実施に向け、
お客様と作戦を練り始めて
います。

アピールポイント・感想

植える場所が狭いことが課題で、「ほんまに、育つかいな」と思いながらも、一部のどうしても植えることの出来ない部分はプランターでカバーすることとし、全体的な植幅の狭さをカバーするための手法を色々なお客様にご意見を頂き、土の肥料や毎日の水のやり方などを工夫育てました。お客様とは、段々と大きく育ってくれるゴーヤ談義に花が咲き、また、実が大きくなってからは、ゴーヤチャンプルや炒め物にし、お客様に試食して頂く中「一度冷凍したら苦みが取れるで」とか「薄く切ってサラダにしたのが一番やで」など、色々なゴーヤ談義でお客様同士で、話の輪が広がりました。

来年度は北側の大きな窓にも挑戦したいと、お客様とワイワイガヤガヤとゴーヤ談義に花を咲かせています。

